

安野 - memo (中国の政治・外交基本路線)

時代の性格(規定) → 帝国内主義とプロレタリア革命の時代である。
階級的分析に基づく。

A.

戦争・平和 → 帝国内主義のひびきで戦争の(危険性)の可能性は
階級政治の継続である。常に存在する。

↓ B.

世界史を決定するもの → 自覚し、団結し、組織された人民の力は
技術ではなく人民大衆である。天下無敵である。

C.

新時代の特徴

1. 社会主義・~~共産主義~~の世界的政治・経済体制が樹立し、
資本主義的世界政治・経済体制と対立している。
2. 帝国内主義的植民地体制が瓦解している。
3. 科学・技術が飛躍的に進歩する。

A. 本質的には変わらない。

B. 戦争の根源は帝国内主義である。(平和共存に戦争のあり方がある)
平和共存と民族解放戦争を混同するな。

平和的にどの層に人民に渡して支配階級は否定にふたつ。
→ 平和共存の戦争の敵はと形態上の帝国内主義の植民地政治にかかっている。

C. 平和をいふと戦争と、社会主義を樹立する戦争は二種類の
事柄である。つねに帝国内主義戦争に反対し原子兵器と核兵器
の禁止のためには世界の平和をさもつために、計っている。と同時に
(平和共存五原則、十原則)
に被抑圧民族の帝国内主義に反対する革命戦争を支持している。

c092-005-003

中国の帝制主義に對する認識

第一段階：感性的認識の段階

- （太平天国運動（1850-1864）
義和團運動（1900）

— 無差別的な排外主義の斗争

第二段階：理性的認識の段階

五・四運動（1919）以後

- 帝制主義の内部的、外部的矛盾の把握
↓
中国の置ける国際的地位、封建階級との
連帯を認識